

事業方針

■全体

- ・会社名でもある Like That parson“その人らしく“

利用者様は勿論の事、職員もその人らしく人生を楽しんで欲しい。

- ・介護に正解はないが不正解はある。

介護は、対「ひと」である。例えば、職員が正しいと思って行動したとしても受け取る側にとっては不快に思う場面もある。お客様は利用者様や利用者様のご家族であり、職員の給料もお客様から支払われている事を常に意識し利用者様と接して欲しい。

- ・職員同士で介護観について話し合う事は重要だと考える。

介護観について話し合う事でお互いの思いを汲み取れる。その際お互い否定から入るのではなく、お互いの意見を受け入れた上で話し合ってもらいたい。

- ・会社としてピラミッド型にするが、何事も報告、連絡、相談を出来る関係を築く。

会社として代表→施設長やデイ管理者→一般職員という位置付けをする。しかし、言いたい事は言って不満を溜め込まないで欲しい。風通しの良い風土作りが必要。

- ・利用者家族、CMに細目に連絡を取り、信頼関係を築き上げる。

繋がりを大切にする事で、次の顧客確保にも繋がると考える。

- ・情報の共有

情報の共有方法は模索中であるが、職員全員が情報共有出来る方法を選定したい。

月に1回職員会議を開き、職員同士の情報共有をする。拘束時間の削減、各自あらかじめ意見を考える事で意義のある職員会議を目指す。その為、職員会議はある程度施設長が作った資料を事前にデータで共有した状態で職員会議を開催する。

- ・目的意識を持って働く。

私の親に介護が必要になった際、自身の親を入れたいと思える施設を作りたい。

仕事は家庭の為、生活の為は勿論である。ただ仕事のみで「何の為に仕事をしているのか？」を一度考えて欲しい。

- ・紙、ペットボトル、缶、段ボール等再生可能資源を次世代に。

世界には限られた資源しかない為、再生可能な資源を大切にする。資源回収を業者に依頼し、そこで得た金銭は利用者に還元していく。次世代の人達の事も考えられる人物になりたい。

- ・地域住民とのコミュニケーション

定期的に地域交流センター等に出向き、地域住民の課題を解決出来る会社になりたい。

- ・何事もこれでいいと思った瞬間から衰退が始まる。

何事にも言える事だと思う。何事も常により良くなる方法を考え話し合う事で、良い方向へと向かっていくと考える。

- ・しっかり利益を得て、地域貢献や利用者様、職員への還元

開業当初は低賃金になるかもしれない。軌道に乗りしっかり利益を得る事で、給料底上げを

する。

- ・ 山口市を拠点とし、地域課題を抽出し色々な業種に挑戦。

介護事業を主軸としつつも、色々な業種にも挑戦していく。「山口にこれがあつたらいいのに」が販路拡大の種だと考える。競合相手や需要を熟考し話し合い、実行していきたい。

- ・ 資産の問題もあり決して納得いく施設ではないが、資産内での最大限の施設。

今回の施設が株式会社 L T P での初めての施設である。資産内での最大限の施設だと感じる。今出来る最大限の利用者様のプライバシーを尊重し、次施設では完全個室やトイレ付等の理想を実現する。

■有料老人ホーム和

- ・ 利用者様が安心、安全、清潔に生活出来る様に職員は関わって欲しい。

利用者様にとって、安全に清潔にストレスなく生活出来る環境作りに注力して欲しい。

掃除は全室毎日、シーツ交換は 1 週間に 1 回(1 日 4~5 部屋)のシーツ交換。

- ・ 食事は施設内手作りで、週 1 回昼食に魚の刺身を提供。

利用者様にとって、施設においての一番の楽しみは食事であると考え。ご飯や汁物、おかずは出来る限り温かい物を提供出来る様工夫していく。介護施設で働く中で利用者様から「刺身を食いたい」との要望を聞くことがあり実現したい。ただ、食あたりも考えられる為、救急搬送等の緊急事態の事も考え昼食提供とする。

- ・ 利用者様の金銭管理

基本的に施設管理とし、利用者様一人一人の金銭を金庫で管理する。預かった金銭を利用者様が望む物であれば、購入してもいいかを利用者様 Fa に要確認。

- ・ 外出、飲酒について

外出、飲酒については多少であれば認めてあげたい。外出、飲酒で問題行動が多発する場合、禁止する。

- ・ 睡眠薬等内服薬について

利用者様が夜間不穏言動がある為、睡眠薬を内服させ立ち直れなくなる場面を何度も目の当たりにした。その人の人生を左右する問題でもあると感じる。

例えば、デイサービスで散歩等日中しっかり体を使えば夜間良眠出来る可能性もある。内服薬を処方してもらう前に出来る事をやってみる事も必要だと考える。

- ・ 移動販売車の検討

職員の手間をとるが、利用者様の満足感が高いと感じる。その為導入したい。

- ・ 看取りの実施。

職員負担は計り知れないが、利用者様や Fa が望むのであれば看取りを実施する。訪看などを入れ、職員の負担軽減をする。

■デイサービス彩

- ・デイサービスの充実度を利用者様や利用者様 Fa に感じて欲しい。

施設見学や問い合わせにて利用者様 Fa は有料老人ホームに重きを置いている様に感じる。確かに有料老人ホームは寝泊りする場所で生活の基盤ある。

しかし、私はデイサービスの方をしっかりとみて欲しいと感じている。利用者様 Fa からすると、どの施設でもデイサービスはちゃんとしてくれているであろうと感じている。蓋を開ければ 1 日中ただ座っているだけ等のデイサービスも存在する為、デイサービスの充実に重きを置きたい。

- ・利用者様が日中活動的に過ごしてもらう施設とする。

日中有料老人ホームで過ごす場合、居室にて寝るか TV をみて過ごされる人が多数だと感じる。その中でデイサービスを利用して頂く事で、入浴やレクリエーション、体操を充実させる事で活動的な日中を目指す。とりあえずは、デイサービスは年中無休で営業する。通常規模の 25 名定員とする。

- ・レクリエーションについて

当番制とし職員一人 1 個は持ちネタとして持っていて欲しい。周りの職員は補助にまわる。

- ・入浴について

基本的には利用者様 1 人に対し週 3 回入浴。

- ・管理者について

管理者は事務作業も多く、送迎・入浴時・オムツ交換・トイレ誘導時や食事時・レク担当時以外は事務所にて事務作業をしてもいいと認めて欲しい。何もない場合は基本的に現場に出て、利用者様と触れ合ったり、職員とのコミュニケーションを図る。

- ・催し物

季節に因んでの催し物を企画・開催し、利用者様に季節を味わってもらう。月に誕生日会を実施。

- ・外部利用者様の確保

送迎時職員の負担になるが、関係を持続することで有料老人ホームへの入居に繋がる可能性がある。DS を充実させる事で、口コミで利用者様も増える可能性もある。